



LIFMON

●ターペン可溶2液形万能シーラー●

生活便利



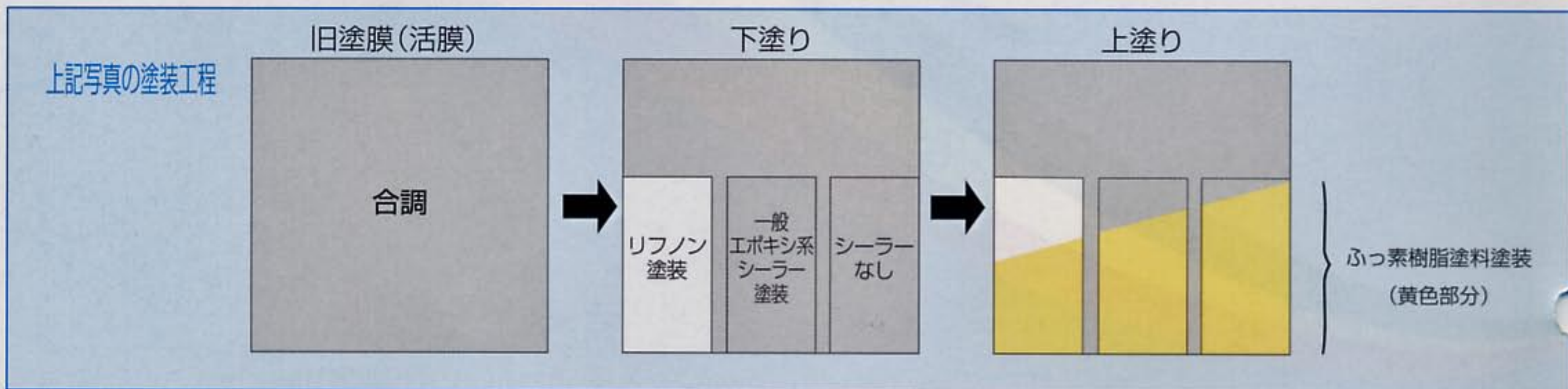
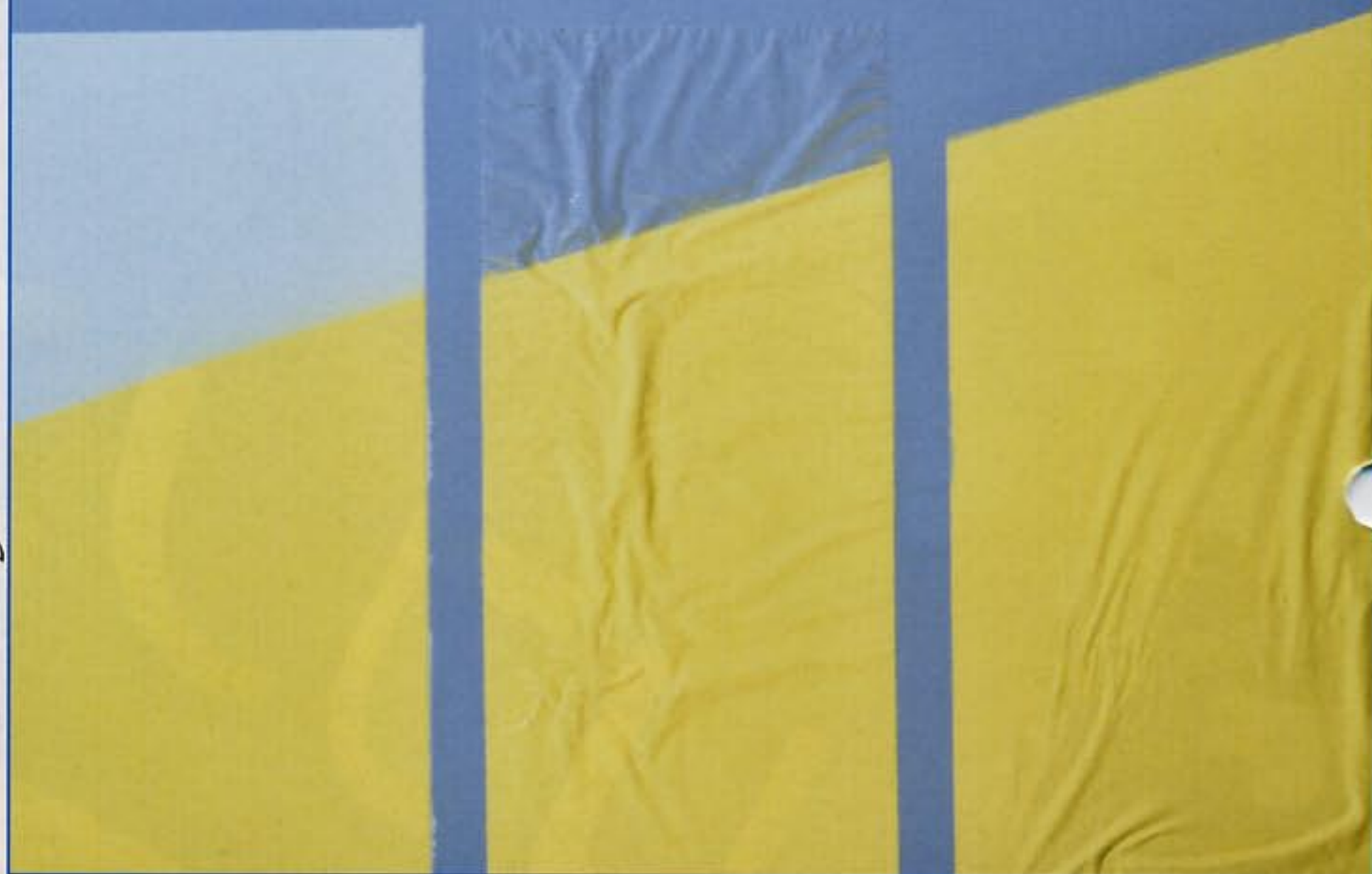
スズカワ

リフノン

特長

1. 旧塗膜(活膜)のちぢみ現象が生じませんので、強溶剤系塗料(ふっ素、ウレタンなど)が安心して塗装できます。
2. 金属系素地、無機系素地および各種の旧塗膜面に対する付着性に優れています。
3. ターペン可溶タイプですから、はけ塗り作業性は合調並みに優れ、臭気もゆるやかです。
4. 防さび性、吸い込み止め性に優れています。
5. ウレタン、アクリル、合調、複層塗材、弾性塗料などいずれの塗料・塗材も塗装できます。

旧塗膜(活膜)面に溶剤系塗料(ふっ素・ウレタンなど)を、塗装した場合ちぢみ現象を生じることがあります。リフノンは、このちぢみ現象を防止し安心して塗装できるターペン可溶万能シーラーです。リフノンはエポキシ・ウレタン樹脂を使用していますので、強力な付着性を有し、防さび性、耐水性、耐アルカリ性にも優れています。



適用範囲

適用部位	適用素地	適用旧塗膜	下塗り塗料	適用上塗り塗料
■建築物 ●外壁 ●階段 ●扉 ●屋根 ●空調機器 ●ダクト ●タンク ●パイプ ●看板	■金属系素地 ●鉄骨 ●鋼板 ●亜鉛鉄板 (電気亜鉛めっき、溶融亜鉛めっき) ●ステンレス板 ●アルミニウム板 ●塩化ビニル被覆鉄板	●合成樹脂調合ペイント ●アクリル樹脂塗料 ●アクリルアルキド樹脂塗料 ●ポリウレタン樹脂塗料 ●塩化ビニル樹脂塗料 ●塩化ゴム樹脂塗料	●ふっ素樹脂塗料 (ラフトンフッソ、ラフトンワイドフッソ) ●アクリルシリコン樹脂塗料 (ラフトンセラミック) ●ポリウレタン樹脂塗料 (ラフトンウレタンエナメル、エポーレ) (1液ワイドウレタン、ワイドウレタン、ワイドルーフ) ●アクリルアルキド樹脂塗料 (メタルトップ、アクリルパー、アクリルエポーレ) ●合成樹脂調合ペイント (エスコートホープDX、エスコートマリン)	
■セメント系素地 ●コンクリート ●モルタル ●スレート ●押出成形板 ●サイディングボード	●複層仕上塗材 ●薄付け仕上塗材 ●厚付け仕上塗材 ●アクリル樹脂塗料 ●ポリウレタン樹脂塗料	●リフノン	●ふっ素樹脂塗料 (ラフトンフッソ、ラフトンワイドフッソ) ●アクリルシリコン樹脂塗料 (ラフトンセラミック) ●ポリウレタン樹脂塗料 (ラフトンウレタンエナメル) (ワイドウレタン、1液ワイドウレタン) ●アクリル樹脂塗料 (ラフトンアクリエナメル)	
	●防水形複層塗材E ●防水形外装薄塗材E		●弾性ふっ素樹脂塗料 (ラフトン弾性フッソ) ●ポリウレタン樹脂塗料 (ラフトンウレタンエナメル) (ラフトン一液ウレタン軟質型) ●弾性アクリル樹脂塗料 (ラフトン弾性エナメル)	

■上記以外に水系上塗り塗料・水系仕上塗材の塗装も可能です。

塗料性状

項目	リフノン主剤	リフノン硬化剤
顔料	無毒性防錆顔料	—
混合比率（重量比）	15	1
60度鏡面光沢度	20	—
密度（g/cm ³ ）（20℃）	1.50	1.03
粘度（mPa・s）	1,200~1,800	500~700
引火点（℃）	42	247
消防法表示	化学名	エポキシ樹脂塗料
	危険物分類	指定可燃物
	危険等級	可燃性液体類
有機溶剤区分	第三種有機溶剤等	

塗膜性能

試験項目	試験結果	試験方法及び判定基準
容器の中での状態	合格	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になること。
混合性	合格	主剤と硬化剤が簡単に混ざること。
可使時間	3時間以内	20℃
塗膜の外観	合格	流れ、つぶ、しわ、むらがないこと。
作業性	合格	はけ、ローラー、吹付け作業に支障がないこと。
乾燥時間	指触乾燥	30分
	硬化乾燥	4時間
上塗り適合性	合格	JIS K 5400 6.5による。 20℃、65%RH
付着性	10点	JIS K 5400 6.7による。上塗り（エポール）しても支障がないこと。
耐屈曲性	合格	JIS K 5400 8.5.2による。セロハンテープ方式2mm間隔
耐水性	合格	JIS K 5400 8.1による。180° 折り曲げφ4mm
耐アルカリ性	合格	JIS K 5400 8.19による。水中浸漬14日間 素材：軟鋼板
耐塩水噴霧性	合格	JIS K 5400 8.21による。飽和水酸化カルシウム水溶液浸漬10日間
	合格	JIS K 5400 9.1による。5%食塩水噴霧35℃、500時間

各種下塗塗料との比較

塗料	旧塗膜適合性	上塗り適合性	付着性	耐塩水噴霧性	耐水性
リフノン ※1 ※2	○	○	○	○	○
エポキシ樹脂系さび止め ※1	△	○	○	○	○
一般さび止め ※1	○	△	○	△	×
エポキシ樹脂系シーラー ※2	△	○	○	□	○
アクリル樹脂系シーラー ※2	△	△	□	△	□

※1.金属系系地面での比較 ※2.セメント系系地面での比較

塗装基準

塗料	リフノン		
塗装方法	はけ塗り	ローラー塗り	エアレス塗り
希釈剤	塗料用シンナー		
希釈率(%)	0~10		10~20
標準塗付量(kg/m ² /回)	0.12~0.16		0.14~0.18
標準膜厚(μm/回)	30~45		
塗装回数(回)	1~2		

乾燥時間

塗料	リフノン			
気温	5℃	10℃	20℃	30℃
指触乾燥	90分	50分	30分	15分
半硬化乾燥	3時間	2時間	1時間	50分

可使用時間

塗料	リフノン			
気温	5℃	10℃	20℃	30℃
可使用時間	6時間	4時間	3時間	2時間

塗装間隔

下塗塗料	塗装間隔 (20℃、65%RH)	上塗塗料
リフノン	5時間以上	<ul style="list-style-type: none"> ・合成樹脂調合ペイント ・アクリルアルキド樹脂塗料(ターペン可溶性) ・ターペン可溶性ポリウレタン樹脂塗料
	16時間以上	<ul style="list-style-type: none"> ・アクリルアルキド樹脂塗料(芳香族系溶剤可溶性) ・アクリル樹脂塗料 ・ポリウレタン樹脂塗料 ・ふっ素樹脂塗料 ・塩化ゴム塗料 ・複層仕上塗材

※水系上塗塗料・水系仕上塗材の場合は、16時間以上です。

さび止め塗料	塗装間隔 (20℃、65%RH)	下塗塗料
<ul style="list-style-type: none"> ・一般さび止めペイント(速乾ラスノン) ・シアナミド鉛さび止めペイント(速乾ラスノン5625) 	1日以上	リフノン
<ul style="list-style-type: none"> ・鉛丹さび止めペイント(ラスノン5622-2種) 	3日以上	
<ul style="list-style-type: none"> ・1液エポキシ樹脂さび止め塗料(エポプラ) 	5時間以上	
<ul style="list-style-type: none"> ・2液エポキシ樹脂さび止め塗料(さびストップ) ・ターペン可溶エポキシ樹脂さび止め塗料(エポマイルド) 	8時間以上	

標準塗装仕様(例)

● 金属系素地、旧塗膜(活膜)：平滑面の塗替の場合

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(20℃)	塗装方法
1 素地調整	<ul style="list-style-type: none"> ●ほこり、汚れ、油分などの付着物を除去・清掃する。 ●劣化塗膜およびさびをディスクサンダー、ワイヤーブラシ、スクレパーなどを用いて除去する。(2~3種ケレン) ●ケレン部にさび止め塗料を塗装する。 					
2 下塗り	リフノン 塗料用シンナー	100 0~20	0.12~0.18	1~2	(工程内)3時間以上 (工程間)5時間以上 14日以内	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り
3 上塗り	適合上塗塗料(商品名) ●エスコートホープDX・エスコートマリン・アクリルパーン・アクリルエポーレ・1液ワイドウレタン・ワイドウレタン ・ワイドルーフ・ラフトンワイドフッソ					

または

2 下塗り	リフノン 塗料用シンナー	100 0~20	0.12~0.18	1~2	(工程内)3時間以上 (工程間)16時間以上 14日以内	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り
3 上塗り	適合上塗塗料(商品名) ●メタルトップ・エポーレ・ラフトンウレタンエナメル・ラフトンセラミック・ラフトンフッソ					

● セメント系素地、旧塗膜(活膜)：凹凸模様面の塗替の場合

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(20℃)	塗装方法
1 素地調整	<ul style="list-style-type: none"> ●旧塗膜の浮き、ふくれ、ぜい弱部などはサンダー・皮スキなどを用いて除去する。 ●汚れ、じんあいおよび、チョーキングなどの劣化塗膜を高圧水洗(水圧:15MPa以上)で除去する。 ●水洗い面を乾燥させる。 ●旧塗膜の段差を同一模様になる塗材で復元する。 					
2 下塗り	リフノン 塗料用シンナー	100 0~20	0.12~0.18	1~2	(工程内)3時間以上 (工程間)5時間以上 14日以内	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り
3 上塗り	適合上塗塗料(商品名) ●1液ワイドウレタン・ワイドウレタン・ラフトンワイドフッソ					

または

2 下塗り	リフノン 塗料用シンナー	100 0~20	0.12~0.18	1~2	(工程内)3時間以上 (工程間)16時間以上 14日以内	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り
3 上塗り	適合上塗塗料(商品名) ●ラフトンアクリエナメル・ラフトン弾性エナメル・ラフトンウレタンエナメル・ラフトン一液ウレタン軟質型 ラフトンセラミック・ラフトンフッソ・ラフトン弾性フッソ					

●シーリング面に、可塑剤の移行防止を目的とした塗装もできます。

適用シーリング材：アクリル系、ウレタン系(1液、2液)、変性シリコン系(1液、2液)、

リフノンの塗装は、シーリング材充てん後、7日以上放置してから行ってください。

塗回数

●下記の塗装系の場合は2回塗りしてください。

素地	下塗塗料(塗回数)	上塗塗料
塩化ビニル被覆鉄板	リフノン(2回塗り)	各種上塗塗料
旧塗膜	下塗塗料(塗回数)	上塗塗料
<ul style="list-style-type: none"> ●アクリル樹脂塗料 ●塩化ビニル樹脂塗料 ●塩化ゴム樹脂塗料 ●つや有り合成樹脂 ●エマルジョンペイント 	リフノン(2回塗り)	<ul style="list-style-type: none"> ●ふっ素樹脂塗料(ラフトンフッソ) ●弾性ふっ素樹脂塗料(ラフトン弾性フッソ) ●アクリルシリコン樹脂塗料(ラフトンセラミック) ●ポリウレタン樹脂塗料(ラフトンウレタンエナメル) (ラフトン一液ウレタン軟質型) ●アクリルアルキド樹脂(メタルトップ) ●アクリル樹脂塗料(ラフトンアクリエナメル) ●弾性アクリル樹脂塗料(ラフトン弾性エナメル)

塗装上の注意事項

- 高温(50℃以上)、湿度85%以上の場合は塗装を避けてください。
- 降雨・降雪・結露の恐れのある場合は塗装を避けてください。
- 主剤・硬化剤は正確に混合し、均一にかくはんしてください。また、可使時間内にご使用ください。
- 風通しの悪い箇所での塗装は、換気に十分注意してください。
- 素地の乾燥状態には、十分注意してください。
- 使用後の塗装器具は、できるだけ早く塗料用シンナーで洗浄してください。
- 希釈シンナーに芳香族系シンナー、ラッカーシンナー、エポキシシンナーは、使用しないでください。
- エアレス塗装の場合、ミスト汚染防止には、十分考慮してください。また、可使時間にご注意ください。

取扱い上の注意事項

- 引火性の液体ですので、火気のあるところでは使用しないでください。
- 吸入すると有機溶剤中毒を起こす恐れがありますから、換気をよくし、蒸気・スプレーミストを吸い込まないよう必ず保護具を着用してください。
- 取扱作業場所には、局所換気装置を設けてください。
- 取扱い中は皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
・有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど。
- 臭いは、食品・飲食物・衣類などに、うつる場合がありますので、作業場所から遠ざけるかまたは、養生するなど、十分に注意してください。
- 容器から出し入れするときは、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布で拭き取って、水の入った容器に保管してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- 蒸気・臭いなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ時には、直ちに医師の診察を受けてください。
- 取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。
特に下記場所の保管は避けてください。
・雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など
- 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器または、粉末消火器を用い初期消火をしてください。
- 捨てる時は、産業廃棄物として処分してください。
- 詳細な内容が必要なときには、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。

容量

リフノン……………16kgセット(主剤15kg/硬化剤1kg)
3.2kgセット(主剤3kg/硬化剤0.2kg)



ISO 9001 認証取得



営業本部 〒510-0101 三重県三重郡桶町小倉1058-4 ☎0593-97-6190 FAX 0593-97-6191
技術本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1 ☎0593-46-1116 FAX 0593-46-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311	東京支店 ☎03-5606-8011	名古屋支店 ☎052-411-1255
大阪支店 ☎072-862-1601	広島支店 ☎082-277-1116	四国支店 ☎0877-24-4621
九州支店 ☎092-938-0071		
東北営業所 ☎0224-82-1633	埼玉営業所 ☎048-643-7180	千葉出張所 ☎043-486-0096
群馬出張所 ☎027-253-4821	神奈川営業所 ☎046-286-3220	静岡営業所 ☎054-285-3158
長岡営業所 ☎0258-27-4723	富山営業所 ☎076-421-5578	三重出張所 ☎0593-97-6115
平野営業所 ☎06-6791-6291	和歌山出張所 ☎073-461-2711	播磨営業所 ☎0791-67-1468
岡山出張所 ☎086-470-2808	松山出張所 ☎089-922-0577	北九州出張所 ☎093-562-1503
熊本出張所 ☎096-378-1795	宮崎出張所 ☎0985-50-6840	鹿児島出張所 ☎099-265-9480
沖縄営業所 ☎098-884-6054		

取扱店